

## 2011Vol.1 特集「中学校教育の不易と流行」へのご意見

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*「VIEW21」中学版のバックナンバーは「Benesse教育研究開発センター」ウェブサイト(<http://benesse.jp/berd/>)でご覧いただけます。

◎「当たり前のことを当たり前にやり続けることが、本来の義務教育の役割であり、揺るぎない学校文化につながる」という全日本中学校長会会長の新藤久典先生の言葉が心にしみました。本校も、学校のブランドづくりまでとはいかなくとも、生徒が楽しく安心して学べる学校づくりに取り組んでいきます。

[茨城県／T中学校／Y・Y]

◎全国連合小学校長会会長の向山行雄先生の「校長はオーケストラの指揮者と同じ」という言葉に感動しました。教師がバラバラでは力を結集できません。個性豊かな教師を束ねることが管理職の役割で、校長のタクト一つでまとめる大切さを実感しました。規模にかかわらず、どの学校も子どもとしっかり向き合い、一つひとつの授業を大切にすることから始めなくてはならないと再認識しました。[鹿児島県／S中学校／S・M]

◎「小中連携」「地域社会との連携」という言葉は多くの学校で流行語のように使われていますが、いざ取り組むとなると各校の事情で具体化しづらい状況にあると思います。今回の特集では中学校の果たす役割や小中連携のテーマについて、細かな取り組みまで述べられ、大変参考になりました。[兵庫県／T中学校／S・K]

◎新学習指導要領で言語活動の充実がうたわれ、ペアやグループの協同学習に注目が集まる中、土岐市立泉中学校のバズ学習はとても参考になると思いました。

[栃木県／I中学校／T・T]

◎土岐市立泉中学校の取り組みは、集団力を付けさせる取り組みとして参考になりました。特に「教師が本気で生徒に期待をかけているか」という言葉に共感し、元気をもらいました。[宮崎県／Y中学校／N・M]

◎隣接学区の中学校との連携を構想していたところだったので、阿智村立阿智中学校の取り組みが参考になりました。[岡山県／F中学校／S・Y]

◎尾花沢市立福原中学校の事例を読み、「授業力」「連携」「協力し合える教師関係」が、生徒の力を育み、夢を実現させる力を引き出すことにつながるのだと思いました。自校での実践のヒントをいただきました。

[兵庫県／S中学校／M・Y]

◎尾花沢市立福原中学校の校内研修の取り組みの中で「自分のための研修が大切」という言葉に共感を覚えました。生徒に分かりやすく教え、自ら進んで学ぼうとする自主性を身に付けさせるために、教師の授業力アップが必要です。さまざまな研修を重ね、教師が共有できる方法を今後も模索していきたいと思えます。

[大阪府／T中学校／Y・A]

◎資料にあった「5割の教師が探究的な学習に不安」という結果が気になりました。私は探究的な学習の中で「確かな学力」が育つと考えています。

[神奈川県／S中学校／T・K]

## お知らせ

文部科学省が被災地の学校と提供者を結ぶマッチングサイトを開設しています

「東日本大震災 子どもの学び支援ポータルサイト」<http://manabishien.mext.go.jp/>

## 編集後記

震災後の混乱の中でも整然と列を成して電車を待ち、支援物資を受け取る被災地の方々の様子が諸外国を驚嘆させたことをご記憶の先生方は多いと思います。このような、自己中心的にならず周囲を思いやり行動するという「ことばが表に出ないコミュニケーション力」に加えて、「ことばを使って表現したり深く考えたりする力」も、中学校の先生方のご指導をもってすれば、同時に伸ばすことが出来る。今回の取材を通じて確信いたしました。(久保木)

VIEW21 中学版 2011 Vol.2

2011年8月6日発行／通巻第310号

発行人 新井健一  
編集人 原 茂  
発行所 (株)ベネッセコーポレーション  
Benesse教育研究開発センター

印刷製本 (株)ビーヴィーコーポレーション  
編集協力 (有)ペンダコ  
執筆協力 中丸満  
撮影協力 川上一生、坂井公秋、ヤマグチイック

## ◎お問い合わせ先

VIEW21編集部

電話 **03-5320-1287**

〒163-0411東京都新宿区西新宿2-1-1  
新宿三井ビルディング13階

©Benesse Corporation 2011